

## 山行報告 大雪山系縦走&十勝岳

【山域】北海道(大雪山系)

【日時】2016/8/1~2016/8/3 2泊3日

【参加者】川口(単独行)

【天候】初日雨、2日目~3日目晴れ

2016年8月1日~3日にかけて、2泊3日で大雪山系の山々を縦走していました。初日から最終日までの行程を振り返りつつ写真と共にまとめてみたいと思います。

### ■初日

7月31日夜に羽田空港に行き、空港で一晩を過ごす。起きたらすぐにチェックインを済ませて、空港のラウンジへ。ラウンジで朝食を済ませたらいざ搭乗。空港での睡眠は全然足りていなかったようで、即爆睡しました。高度が下がってきたあたりで目覚めると、隣の人に話しかけられる。その方も山へ行く予定ということで、話が盛り上がり意気投合。旭川空港から旭岳のロープウェイ乗り場までレンタカーで乗せて行ってくれるというオファーを頂き、ご好意に甘えて乗せて行って頂きました。乗せて行ってもらったことで1時間強予定が繰り上がり、10:00 ちょうどのロープウェイに乗り5合目の駅に10:15着。10:30くらいに登山を開始しました。



登り始めから曇っており、嫌な感じの天候でした。6合目に11:28、7合目に11:44と順調に高度を上げ、時折雲が晴れて見える景色は絶景。頂上には12:40着。辺り一面ガスまみれで全く何も見えませんでした。雨に一度降られましたが登頂時点では雨は止んでおり、予定通りこのまま進むことに。

ここからの行程は非常に厳しいものになりました。雪が少ないと言われていたにもかかわらずいきなり現れた雪渓。いきなり怪我したくもなかったので持ってきた軽アイゼンを付けていたところ、ガスが現れ辺り一面真っ白。足跡はかろうじて見えますが方向がそれていたらまずいと思いコンパス投入。

雪渓を通過した辺りから天気が急激に悪くなり、大雨＋雷の音が鳴り響く。すでに引き返せるような位置ではなく、また雷も音だけで光ってはいなかったので、「大丈夫だ」と言い聞かせそのまま突っ込むことに。四方八方からゴロゴロ雷の音が聞こえてくる中の山行は、全く生きた心地がしませんでした。

それでもなんとか初日の目的地である白雲岳避難小屋に 16:10 過ぎに到着。大雨の中、小屋に泊まるかテン泊にするか一瞬悩みましたが、雨はいずれ晴れてもイビキは鳴り止まない、ということでテン泊することに。結局 20 時前まで降り続いた雨でテントはずぶ濡れで中にも少し浸水したくらいでした。こんな雨でも、一つだけいいことが。というより、これで雨の中の山行が帳消しになるくらいいいことがありました。

18 時過ぎ、外で「こんなの見たことない！」というような声が聞こえてきたのでテントから出てみると、ちょうど小屋の上にアーチを描くように虹がかかっていました。この写真では左右が途切れていますが実際は綺麗な半円を描いています。こんなに綺麗な虹を見たのは初めてでした。翌日の小屋で会った W さん曰く、白雲岳避難小屋では虹がよく出るそうです。



## ■2日目

4時起床の6時発。北海道の山は水を煮沸する必要があるので、水の準備などを慌ただしくやっていました。前日とは打って変わり快晴！とにかく景色が凄い。歩いているだけで心が洗われていきます。この写真は出発直後に撮ったものですが、目標のトムラウシ山はおそらく中心で少し出っ張っている山(左写真)。

2時間ほど歩いて、遠くに見えてきたのは忠別沼、右上の出っ張りが忠別岳です。忠別岳を越えたあたりから徐々に雲が出てきて、なんだか嫌な感じに。前日の二の舞だけはなんとかしても避けたかったので、ここからは出せる全開の速さで動きました。



木道を歩き、この日の目的地であるヒサゴ沼避難小屋直前のピーク・化雲岳に着いたのが 11:20。どうやら天気は持ちそうでした。どんどん飛ばして歩いていたのですが、ここに来てまさかの道間違い！といってもヒサゴ沼避難小屋には辿り着けるのですが、その道自体が雪渓に埋まっているという展開。



完全に埋まっていました。沼の真横の雪渓のトラバースは、滑ったら沼にドボンです。ここをなんとか通過し、避難小屋には 13 時前に到着。コースタイム 7 時間に対して 6 時間で到着しました。前日の雨で濡れた装備を乾かしつつ、続々と到着する人たちと談笑。この沼にはサンショウウオがたくさんいる！という話にもなりサンショウウオ観察などを楽しみました。この後もさらに鹿が現れてみんなでワイワイ楽しんだり、17 時に地元の人 W さんが到着し話してるうちに北海道の山についての見識を深めることができたりと、2 日目は実に有意義に過ぎていきました。4 日目を予備日として取ってある、という話をしたところ、「十勝岳かニペソツ山は日帰りでも登れる！」と周りから「山に行ったほうがいい！」と勧められ、翌日電波が届くようになった時点で計画を始めるのでした。前日と同じく、20 時過ぎ就寝。

### ■3日目 & 十勝岳



2日目から引き続き、大雪山3日目はトムラウシ山に登頂し下山予定。前日に談笑していたWさんが「トムラの短縮登山口から車で送っていいか？」(北海道人はトムラと言うらしい)というありがたいオファーを下さり、本来の登山口ではなく短縮登山口の方へ降りることに。これだけで1時間以上行動時間が短くなります。初日に引き続き人に恵まれています！左の写真はヒサゴ沼の朝、5時過ぎ。右の写真は出発後すぐに越えた雪渓。

この日の大雪山はスーパー快晴。はるか遠くには目的地のトムラウシ山が(次ページ左上写真)。彼方に薄く見えるのは、左から石狩山地、ニペソツ山、ウペペサンケ山。ニペソツ山はいずれ絶対登りたい(次ページ右上写真)。少し歩くと、北沼という巨大な沼がありました(次ページ左下写真)。ここら辺一帯が、2009年に起きたトムラウシ山遭難事故のまさしく現場ということでした。この北沼も、その日は様子が一変しており水が溢れかえって川ができており渡渉が困難だったということです。明日は我が身と思い、今後も無理なプランは避けエスケープルートもきちんと計算した計画を立てたいと思う。このまま歩みを進め、電波が通じるところで翌日の計画を検索したり電話したりしつつ、8:20くらいにトムラウシ山に登頂(次ページ右下写真)。



今回の目標だった、旭岳からトムラウシ山をつなぐ縦走はここで達成しました。割りと体力に余裕があり食料も多めに持ってきていたので、予備日がもう1日あれば十勝岳までの縦走も挑戦したかったところです。合流したWさんとトムラウシ山頂で談笑し、9時半くらい？に出発。ここから1時間強はトムラウシ公園の絶景を楽しみながら気分良く歩けるのですが、そこから先が個人的にはかなりの地獄でした。標高を一気に下げて足にダメージが！と思っていたら突然急登になりしかも泥濘しまくってる道をひたすら歩く。途中で会った75歳のおじいさん2人組にもらった生キュウリ+味噌のおかげで多少回復しましたが、泥濘エリアが終わるポイント・カムイ天上に着いた時点で体力というより精神的にかなりやられてました。

ゼゼゼ言いながらようやく短縮登山口に着いたのが14:30。実に長い下山でした。この駐車場、長野ナンバーが3台並ぶという異常なことに。自分の車を持ってくると色々楽そう。この後はWさんの到着を待ち、トムラウシ山登山口のある東大雪荘で温泉。3日間の汚れを綺麗に流し、Wさんに新得駅まで送ってもらいました。何から何までありがとうございました！



新得駅でWさんと別れ、まずはスーパーへ買い出しに。この日のここからの流れは、上富良野駅に電車で移動し、上富良野駅からタクシーで白銀荘という十勝岳の麓の宿泊地まで到達すること。ヒサゴ沼で感化された俺は、翌日に日帰りで十勝岳に登ろうと決めていたのです。白銀荘にはテント場があるのでテ泊予定。水場があるか分からなかったのでとりあえずスーパーで6L水を調達(結果的に水場はありました)。

最終的に白銀荘には21:30前に到着。諸手続きを済ませテントを張り、遅い夕食を済ませたあと就寝。翌日は十勝岳に登っていますが写真が殆どありません。というのも、ある程度の標高に達した時点で猛烈な突風が吹き荒れていて、転ばずにまっすぐ歩くことに全神経を集中させる必要があったのです。晴れ間が覗くことは一度もなく、結局登頂するまで凄まじい天気が続きました。



北海道にはまだまだ登りたい山があるので、いずれ必ずまた来たい。

北海道編・完